

# 第9回シンポジウム

## 『環境・常在細菌と自然免疫』

日時 令和2年3月6日(金)

13:00~17:10 (12:00受付開始)

17:30~19:30 (交流会)

会場 笹川記念館 鳳凰の間

(東京都港区三田3-12-12)

入場料 一般:1,000円 学生:500円 定員150名:申込先順

### ～ プ ロ グ ラ ム ～

13:00~17:10

講演 1 (各講演者30分-40分 ※質疑応答を含む)

講演者

久保 幹 (立命館大学 生命科学部 生物工学科 教授)

竹馬 真理子 (慶応義塾大学 医学部薬理学教室 准教授)

橋本 雅仁 (鹿児島大学 学術研究院 理工学域工学系 教授)

講演 2 (各講演者30分-40分 ※質疑応答を含む)

講演者

山本 和史 (自然免疫制御技術研究組合 主任研究員)

「LPS摂取の肥満・糖尿病予防効果」

溝渕 悠代 (自然免疫制御技術研究組合 主任研究員)

「認知症の新奇予防・治療薬ポテンシャルとしてのLPS」

稲川 裕之(自然免疫制御技術研究組合 研究開発本部長)

時間、内容は予告なく変更となる場合がございます。ご了承ください。

17:30~19:30 交流会

◆問い合わせ先◆

自然免疫制御技術研究組合 事務局 (中本・細川・川西)

〒761-0301 香川県高松市林町2217-16 FROM香川バイオ研究室 自然免疫グループ

TEL:(087)813-9201 FAX:(087)813-9203 E-mail:ciitra@shizenmeneki.org

# 第9回シンポジウム『環境・常在細菌と自然免疫』開催にあたり

「自然免疫制御技術研究組合」は、糖脂質(リポ多糖、LPS)等を用いて自然免疫を制御する有用な技術を開発する目的で、平成22年3月8日、経済産業省の認可を受け、全国で12番目、四国では初めての技術研究組合として設立されました。

現在、自然免疫活性を制御するさまざまな新規な素材の研究開発に取り組むとともに、自然免疫制御による健康維持戦略の確立に向けリテラシー向上にも力を注いでおります。

また、平成26年度には、内閣府の主導する戦略的イノベーション創造プログラム(略称SIP)次世代農林水産業創造技術において、東京大学大学院・阿部啓子特任教授が取りまとめられる「次世代機能性農林水産物・食品の開発」に属する「ホメオスタシス多視点評価システム開発グループコンソーシアム」(代表研究機関:自然免疫制御技術研究組合)が採択され、30年度までの5年間にわたって、「ホメオスタシス維持機能をもつ農林水産物・食品の機能性成分評価手法の開発と作用機序の解明」にむけて研究開発を進めてまいりました。これを踏まえて前回のシンポジウムまではSIP事業のアウトリーチ活動として、「ホメオスタシス多視点評価システム開発グループコンソーシアム」と「自然免疫制御技術研究組合」の共催で開催させていただきました。SIP事業は昨年度で終了いたしましたので、今年度からは再び自然免疫やマクロファージそしてLPSに焦点を当ててシンポジウムを開催する運びとなりました。

日本が長寿国家であることは誇るべきことでありますが、その一方で、高齢化に伴い医療費が増加している事実にも表れているように、必ずしも健康とは言えない状態にある高齢者も少なくありません。超高齢社会において良好なQOLを保つ対策を具体的に提供することは、今後の大きな課題の一つであることは明らかなです。その具体的な取組として、環境との接点、すなわち皮膚や粘膜上(皮膚・口腔粘膜や消化管粘膜)での自然免疫の有用性や常在細菌から供給されるLPSのホメオスタシス維持機能は昨今大きな注目を浴びる研究課題になっております。

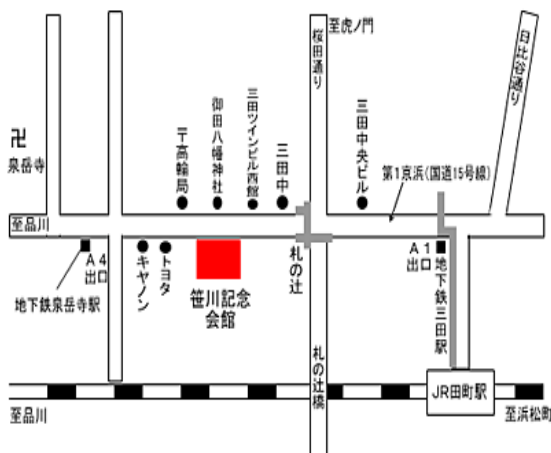
本書にてご案内申し上げます「第9回シンポジウム『環境・常在細菌と自然免疫』」は、以上の背景を踏まえまして、環境応答が自然免疫とどのように関わっているのか、また環境由来あるいは常在細菌のLPSがいかにホメオスタシス維持に本質的な役割を果たすか、につきまして、最新の話題を取り上げ広く一般の皆様にご公開するものです。

つきましては、今回は以上の分野で先駆的な研究を展開しておられる先生方をお招きしてご講演をお願いすることと致しました。ご講演頂く先生方は鹿児島大学学術研究院理工学域工学系教授 橋本 雅仁氏 立命館大学生命科学部教授 久保幹氏、慶応義塾大学医学部准教授 竹馬 真理子氏です。これに加えまして、組合から最新の研究成果をお話しするべく、自然免疫制御技術研究組合 主任研究員 山本 和史、同 溝渕 悠代、そして研究開発本部長 稲川 裕之よりLPS摂取やマクロファージの健康維持における重要性について最近の取り組みを中心に講演させて頂きたいと存じます。

本シンポジウムが免疫関連の研究者、予防医療や健康産業に携わっておられる各界の皆様、そして免疫に興味をお持ちの皆様、環境・常在細菌と自然免疫に関する研究と開発の現状やこれからの展望を理解していただく機会になるとともに、組合活動を広く皆様の健康維持活動に繋げるための普及広報につながれば幸いです。

たくさんの方々にご出席を賜りますよう、ご案内申し上げます。

## 笹川記念会館 アクセスマップ



### 最寄りの交通機関

- ・都営地下鉄三田線  
「三田」駅下車A1出口から徒歩6分
- ・都営地下鉄浅草線  
「泉岳寺」駅下車A4出口から徒歩3分
- ・JR山手線  
「田町」駅下車三田口から徒歩8分

### 笹川記念会館

〒108-0073 東京都港区三田3-12-12  
TEL 03-3454-5062 (代表)